

# リゾート会員権0.6%高

## 12月、3カ月ぶり上昇

リゾート会員権の販売を仲介するe会員権(横浜市)がまとめた2021年12月の会員権の平均価格は前月比0.6%高の363万円と、3カ月ぶりに上昇した。海外旅行の代替として、高価格帯を中心に取引が堅調だった。新型コロナウイルスの新たな変異型「オミ

クロン型」による感染拡大が世界的に広がるなか、今後もリゾート会員権の需要が一定程度続きそうだ。12月に値上がりした商品は22件で、うち6割以上を300万円以上の高価格帯が占め、相場を押し上げた。値下がりした会員権も22件で、30

0万円以上が全体の45%を占めるなど、高価格帯を中心に値動きが激しくなっている。涌井智子代表は「品薄状態が続き、商品さえあれば取引がされる状況だ」と話す。全体の取引件数は11月比17%減った。年末の12月は例年取引件数が減る

傾向にある。取引件数で最も多かったのは1000万円未満の低価格帯で、全体の42%と前月から1割増えた。

2021年末から、国内外でオミクロン型の感染が拡大している。新型コロナウイルスの長期化が予想されるなか、「海外旅行の再開には時間がかかる」として、国内で余暇を楽しむという需要は今後も続くだろう。(涌井代表)